

平成25年度経営計画

1. 経営方針

(1) 業務環境

1) 兵庫県の景気動向

平成24年度の兵庫県下の景気は、東日本大震災の復興関連需要などを背景として、設備投資や住宅投資等一部に持ち直しの動きがあったものの、海外経済減速等を背景に、輸出、生産が落ち込むなど、全体としては弱い動きとなった。

地域別でみると、瀬戸内臨海部では一部回復の兆しが見られたものの、郡部では厳しい状況が続くなど景況感に地域差が生じている。

中小企業の資金需要については、総じて低調であり、保証動向も低調な資金需要を反映したものとなった。

平成25年度においては、景気の先行きに不透明感があるものの、円高の改善基調などやや明るい材料もある中で、資金需要の回復が見込まれる。

2) 中小企業を取り巻く環境

兵庫県下の中小企業においては、景気回復の遅れなど経営環境の厳しさは続いており、景況感は悪く、企業業績の落ち込みなどにより資金繰りも一層悪化している。

中小企業金融円滑化法の終了後も金融機関の姿勢に大きな変化はないと予想されるが、経営改善の進まない企業については、厳しい局面も懸念される。

(2) 業務運営方針

地域経済の担い手の中心である中小企業者は、景気の長期低迷により売り上げが回復せず、依然として厳しい状況にある中で、中小企業金融円滑化法の終了により、資金繰りの先行きに不安感がある。また、県下各地域においては労働人口の減少等により地域の活力が低下し、地域間格差が拡大している。

こうした中、中小企業者に対して積極的な保証支援を行うとともに、地域経済の活力を取り戻すため、従前にも増して信用保証協会と地域との関わりを強めていくこととする。

加えて、信用保証協会の存続にも関わる議論がある中で、期中支援の実効性を高めることやコンプライアンス態勢の強化等により、中小企業者の良きパートナーとして、信頼されかつ必要とされる信用保証協会を確立し、信用補完制度が持続可能なものになるように努める。

これらを踏まえ、平成 25 年度における業務運営方針を以下のとおりとした。

- 1) 地域経済の発展に寄与するため、地域特性に応じた保証支援を積極的に行うとともに、地域との関わりを強化し、保証利用機会の拡大を図る。
- 2) 中小企業金融円滑化法の終了を踏まえ、中小企業の経営維持・再生の実効性を高めるため、関係機関と連携をより緊密にし、保証利用企業の状況把握に努めるとともに、経営・期中支援の強化を図る。
- 3) 求償権回収の最大化・効率化を図るため、回収進捗管理の徹底や保証協会サービサーの活用等に取り組む。
- 4) 信頼される信用保証協会を実現するため、研修や会議等を通じて、役職員のコンプライアンスマインドの一層の向上を図るとともに、今後とも反社会的勢力等には毅然として立ち向かい、一切の排除に努める。
- 5) 質の高い信用保証や経営支援等を提供するため、職員研修を実施するなど、役職員の資質向上に努めるとともに、顧客本位の視点で地域に根ざした広報活動を行うことなどにより、顧客サービスの向上を図る。

2. 重点課題

【保証部門】

- 1) 地域への関わりと地域活性化に向けた保証展開
- 2) 適正保証の推進
- 3) 関係機関との協調支援

【期中管理部門】

- 1) 経営・期中支援の強化
- 2) 代位弁済の抑制

【回収部門】

- 1) 回収の最大化・効率化
- 2) 管理回収業務にかかるサポートの強化

【その他間接部門】

- 1) コンプライアンス態勢の強化
- 2) 業務運営の効率化
- 3) 人材の育成
- 4) 顧客サービスの向上
- 5) 広報活動の充実

3. 主要業務数値の計画

平成25年度の保証承諾等の主要業務数値（見通し）は以下のとおりです

項目	金額	前年度計画比
保証承諾	3,500億円	94.6%
保証債務残高	1兆1,400億円	88.4%
代位弁済	430億円	99.5%
回収	79億円	91.9%